

全員で勝ち取った全日本! リベンジ誓う!

経スポ



準硬全日本へ

2年連続出場決める!



関西地区トーナメント大会最終日。第一試合の立命館大学に敗れ、第二試合は対戦経験のない大阪教育大学と全日本出場の最終枠をかけて争うこととなった。相手の情報がない上に、ダブルヘッダーという不利な状況であったが、選手たちにそんなことは関係なかった。試合前には、完全に切り替えてノック練習に臨む選手たちの姿があり、その雰囲気を見た原主将(経営4年)が「次の試合は間違えなく勝った」と断言したという。

第二試合、3回には先頭上田(経情4年)と続く福井(経済3年)が四球を選び、大西(人科1年)の送りバントで2・3塁とすると、田中(経営2年)の左前タイムリーで2点を先制。さらに8回、大本(人科3年)のヒットからつなぎ、原主将がダメ押しのタイムリーで2点を奪った。投げては、エース生田(経営4年)が得意のツーシームで相手を圧倒し、無四球・10奪三振・被安打2の完封勝利。生田はこの2試合で合計16イニング228球の激投であった。

昨年主力を担っていた4年生が卒業してから、2年連続出場のプレッシャーがあったというが、「ベンチとスタンドの一体感は昨年に負けていない」と池澤主務(人科4年)が自信を持って語った。ベンチでは花村(人科3年)、スタンドでは日野(人科2年)がムードメーカーとなり、この一体感をつくり出している。

8月22日〜27日に開催される全日本大学準硬式野球選手権大会では、本学準硬式野球部がモットーとする「全員野球」で、昨年敗れた王者・中央大学にリベンジし、全国制覇することを大いに期待したい。



発刊:大阪経済大学
スポーツ文化振興室

経大

準硬式野球部
VOICE

今年も「日本一」に挑戦できる成果を挙げた選手たち。創部の理念を忘れなければ、必ず目標を實現できると信じています。(牧田総監督)

全員野球で掴み取った全日へのキップ。去年よりも上を目指し、学校関係者の方々のご期待に添えるようにがんばりますのでご声援のほどよろしくお願いします。(稲田監督)

昨年の全日ベスト4というプレッシャーがあったので今年も全日に出場することが決まり安心しました。(原主将)

たくさんの方々の支えの中で全日に出場することができてすごく嬉しいです。全日ではその恩返しが少ないのでできればいいと思います。(池澤主務)